

「女性のためのマネーセミナー」

なでしこホール（西宮） 5/21 開催

セレクト岡本店木具康恵です。

10周年を迎えて、ファイナンシャルプランナーとしての活動の場を広げようとしています。

まず、第一弾として「女性のためのマネーセミナー」の講師として、5月21日になでしこホール(西宮)で約2時間、運用の基本的なお話をさせていただきました。20名以上の方が参加され、皆さん熱心にお話を聞かれていました。

年金支給年齢の引き上げが噂されたり、年金支給額が減っていくのではないかなど年金への不安から資産運用を考えられる方も多くなってきています。

参加者は20代～60代まで幅広く、皆さんの一番の関心事はこのマイナス金利の中、お金をどのようにしていけばいいのかでした。特に40代や50代の方の関心事は「老後資金」で、それをどのように準備したらいいのかという事でした。

運用の基本は

①分散投資 ②長期投資 ③時間分散です。

その3つを基本に運用商品を購入するのですが、購入前に考えて欲しいことがあります。それは「お金色分け」です。

このように「お金を色分けする」ことで、「運用する商品」が異なってきます。色分けするためには「ライフプラン=将来の予定」が重要なのです。

■運用例「車を購入する」

【車1台目を預金で購入する場合】

5年後に300万円の新車を購入するための資金準備
 $300万円 \div 5年 \div 12か月 = 50,000円$ を
 毎月「預金」で積み立てる

【車2台目を運用で購入する場合】

15年後に300万円の新車を購入するための資金準備
 ⇒15年あるので、利回り3%の運用商品
 $300万円 \times 0.05377 = 161,700円/年$
 $161,700円 \div 12か月 = 13,500円$ を毎月「運用」で積み立てる
 (※ $13,500円 \times 12か月 \times 15年 = 2,430,000円$ で準備できたことになります)

※1) 減債基金係数
 将来の一定期間後に目標のお金を得るために、一定利率で一定金額を複利運用で積み立てるとき、毎年いくらずつ積み立てればよいかを計算するときに利用します。



5/21開催「女性のためのマネーセミナー」会場風景
 皆さんたいへん熱心にお聞き下さいました。ご参加ありがとうございました。またこのような機会を設けたいと考えています。

お金を色分けする



「将来に回せるお金は・・・？」
 お金を色分けして計画しましょう

「ためるお金」「ふやすお金」
 を確保して、残ったお金を
 「使えるお金」に回せば
 いいんだ!

「ふやすお金」は
 どうやって
 ふやせばいいの？



金融商品を賢く選ぶ



この様に「準備する時間」と「必要な金額」で金融商品を当てはめるのが効率のよい準備方法なのです。

私もこの仕事に就く前は、漠然と「いい金融商品ないかな？いい積立方法ないかな？」と考えていました。

自分の場合はどうなのか、具体的にどのように考えていけばいいのかが分からずに結局、時間だけが経って何もできていない方が多くいらっしゃいます。

弊社では、生損保の保険だけでなくSBI証券の金融商品も取り扱えますので、教育資金、住宅資金、老後資金の準備方法、退職金の運用なども遠慮なくご相談下さい。

★サマーフェスティバル「フォトうちわ」無料サービス



恒例のサマーフェスティバルにセレクト岡本店は今年も参加します。ご好評頂いている「フォトうちわ」は、その場で写した写真を「うちわ」にしてお渡しします。スタッフ一同、たくさんのご来場をお待ちしております。

■日時 8/27(土) 8/28(日)
 16:00～

2016
 27号

Clover times

クローバー タイムズ

vol.27 2016年 夏号

- セレクト通信 「女性のためのマネーセミナー」レポート
- 旅コラム～出会いの旅・シンガポール
- 注目される「ホスピタルアート」の取り組み
- 司馬遼太郎記念館を訪ねて

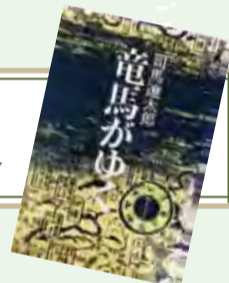


●クローバータイムズ編集部

[発行者・募集代理店] 株式会社フォーユー
 [所在地] 〒541-0054 大阪市中央区南本町2-3-8 KDX 南本町ビ4F
 Tel.06-6266-4404 (代) Fax. 06-6266-4414
<http://www.4-you.co.jp>
<http://select-4-you.com>

読者探訪

～司馬遼太郎記念館を訪ねて～



東大阪の閑静な住宅街の中に司馬遼太郎記念館があります。ご自宅の書斎の前を通り、安藤忠雄氏設計の記念館へ。司馬氏はこんな穏やかな空気の中で本を読み、時代を、人を見据え、ペンを握っていたのだろうと感じます。

記念館の中は、司馬遼太郎氏の蔵書約2万冊が納められています。これは蔵書の一部ですが、彼の作品はこのような史実の裏付けがあったのだと感服します。地下1階から地上2階までの吹き抜け。そこに並べられた本を見上げるだけでも、彼のすごさがわかります。

私は、司馬遼太郎氏の描いた坂本竜馬の大ファンです。幕末という時代だから、輝いた人なのではないかと思えるのです。

びっくりしたのは、一番日当たりが良い場所。その天井にシミが・・・建ててしばらくたってから現れたそうですが、それが、どうみても坂本竜馬の形に似ているのです。一度そのシミを見に行かれるのも良いかもしれません。(読書好きT)



所在地：大阪府東大阪市下小阪3-11-18
 最寄駅：近鉄奈良線 八戸ノ里駅 徒歩8分
 営業時間：10時～17時
 TEL：06-6726-3860

司馬遼太郎記念館 外観
<http://www.shibazaidan.or.jp>



医療現場にアートを…
注目される
「ホスピタルアート」

2004年にNPO法人化された「アーツプロジェクト」は関西を中心にさまざまな公・私立病院、クリニックなどで「ホスピタルアート」を実践しています。

医療現場・福祉施設などの治療・医療空間にアートを導入することによって環境を改善し、その病院の理念を顕在化させていくことはもちろんのこと、現場スタッフがスムーズに業務しやすくすることでより安全な医療を提供すること、また活動を通じて地域社会との連携を強めるなどの目的を持っています。



香川県「四国こどもとおとなの医療センター」
(上) 地上庭園ベンチからの風景
(下) 手術室前の待合室、廊下の壁画制作風景



大阪府堺市 耳原総合病院 廊下壁画

アートを飾る、壁画で癒しの空間作りをするだけにとどまらず、職員からの相談や様々な問題解決の場になっているところが素晴らしい活動だと感じます。

職員、患者さん、その家族、地域の方やアーティストの皆さんと一緒に温かい心で創作し、医療従事者のストレス軽減や患者さんが治療に前向きに取り組もうとする「希望」を生む「ホスピタルアート」は今後も注目されることでしょう。

〈特定非営利活動法人 アーツプロジェクト〉

■ 提案のねらいと予測できる効果

- ・医療現場でのヒアリングによる問題の洗い出し
- ・病院スタッフとのコミュニケーションから生まれる「希望と理念」の顕在化
- ・専門性を磨くあまり分断され閉鎖的になりがちな医療現場に多面的で柔軟なつながりの創出
- ・改善の為のコンセプトを打ち出し、アートで表現
- ・積極的に発言し「病院づくり」に関わる事による職員のモチベーションの向上
- ・近隣の福祉施設や教育施設等との協働
- ・患者さん、地域のボランティアを巻き込んだアートワークショップの開催による社会包摂など地域に開かれた病院の在り方を提唱

活動詳細・作品など詳しくはホームページへ
<http://www.arts-project.com>



タイムズ
編集室便り

いよいよ8月6日からリオオリンピックが始まりましたね！私はオリンピックに限らずスポーツ観戦（TVです）大好き人間なのでとても楽しみにしています。始まる前から不安視されていた治安や環境の悪さに加え、某国のドーピング問題などがせつかくのスポーツの祭典の汚点にならないように祈ります。南米初のオリンピックですので、選手の皆さんが力を思い切り発揮できるよう応援しています。できれば今回はパラリンピックをたくさん放映して下さい！



旅コラム

「出会いの旅
シンガポール」



5月13日から17日までの4泊5日、シンガポールへ行かせていただきました。私一人でのツアー参加でしたが、いろんな方との出会いがたくさんの思い出に残る旅になりました。

朝10時に羽田空港を出発、現地のチャングキ空港には18時30分頃に到着。空港からすぐに専用バスでウエルカムディナー会場へ。

会場はシンガポールで一番高いスイスホテルの69階のレストラン。窓の外はちょうど夕暮れから夜景に移り変わっていく中で、大きな窓の左側には世界一大きい観覧車、右側には屋上のプールで有名なマリイナベイサンズホテルと、ライトアップされたマーライオンを見下ろせるレストラン。華やかなたくさんの光に映えてとても綺麗でした。

参加者は、約70名。同じテーブルには、大阪で家族経営されている社長、奥様、息子さんがいらっしやうって一人参加の私を気遣って話しかけていた。一緒に食事に舌鼓をうち楽しい時間を過ごせました。

2日目は、終日自由行動でした。リッツカールトンシンガポールで贅沢な朝食。日本での朝食ではなかなか食べられない、オリーブや生ハム、トマトやオニオンを山盛り、色鮮やかなサラダとフルーツをたっぷりいただいて、お目当てのラッフルズへ。ラッフルズは、1887年に開業した5ツ星の高級ホテルで白を基調としたクラシックなホテル様式の建物で有名です。ここでの目的は、ホテルのロングバーでピー



ナッツの殻を床に落としながらシンガポールスリングを飲むこと！（シンガポールの定番！）喫煙やガムのポイ捨てなどが厳しいシンガポールでここは唯一「ポイ捨て」が許可されている場所なので、……、と言いつつも、ちゃっかり殻入れがカウンターの前に常備してあり、下に落ちていない人もそう多くはない感じ。どないやねんと突っ込みながら、ここぞとばかりたくさん殻を落とすつもりで「なんだが、スッキリです（笑）」シンガポールスリングは、シロップやチェリーブランドなどが入っているピクで甘口のカクテルで、重めの赤ワインが好きなら私にとっては、昔懐かし風のチューベットにアルコールが入っているみたいなのドリンクでした。

旅の醍醐味といえば、人との出会い。お酒の勢いもお借りしまして、隣の席の白人女性、キャサリンに話しかけてみました。彼女は、イギリスのロンドン出身で、40代前半。1年前に仕事で2年間の任期でご主人と娘さんを母国に残して単

身でこちらに来ていたとのこと。ご主人は、イギリスでも有名なロイド銀行で役員、2カ月後に会社を辞めてシンガポールに移住して起業をする予定とか。「50代での移住や起業については、反対はしなかったの？」と聞くと、「それは、全く問題ないわ。」と彼女。「私は、彼がやりたいと思っていることを応援しているし、成功するかどうかはやってみたいとわからない。もし、駄目だったとしても、やらないで後悔だけはして欲しくないの。うまくいかなかった時は、私が彼を養えばいいだけだしね！」とウインク。

楽しそうな（？）私たちの掛け合いに、近くにいたマレー系アメリカ人のレイがしゃべりかけてきました。アメリカ人のサンフランシスコに在住のレイは、不動産投資家で成功を収めて、50代前半にしてセミリタイア生活。そんな順風満帆で幸せな生活がある日、一変。何気なく受けた人間ドックで肺がんが見つかったそうです。ステージもまだ初期だったものの、彼のショックは大きくそれがきっかけで、「自分の人生の幸せとは何か？」を考える旅の途中にシンガポールに立ち寄りたこと、家族ととびきりの笑顔で挨拶とハグをして、1日をはじめること、自分の気持ちを大切に1日1日過ごすこと。

あたりまえだっと思っていただけなことに気づくことができた」と笑顔で話していました。

人生は、十人十色、起こる出来事はひとつで、大切なのはそれを自分でどう受け止めて行動していくか。一期一会また、二人にどこかで会って、会わなかった間の話ができればと感じました。

3日目は、地下鉄観光の旅へ。

チャイナタウン、アラブストリート、リトルインディアという3つの違う文化を持つ町並みを味わってきました。行きバスの中で現地ガイドさんが7回くらい、連呼していたチキンライスもフードコートで食べてきました！スーパの大きさにビックリ！ちなみに、マンダリンホテルのチキンライスは4倍の値段がするそうで、ホーカーという屋台が、フードコートで食べるのがオススメです。

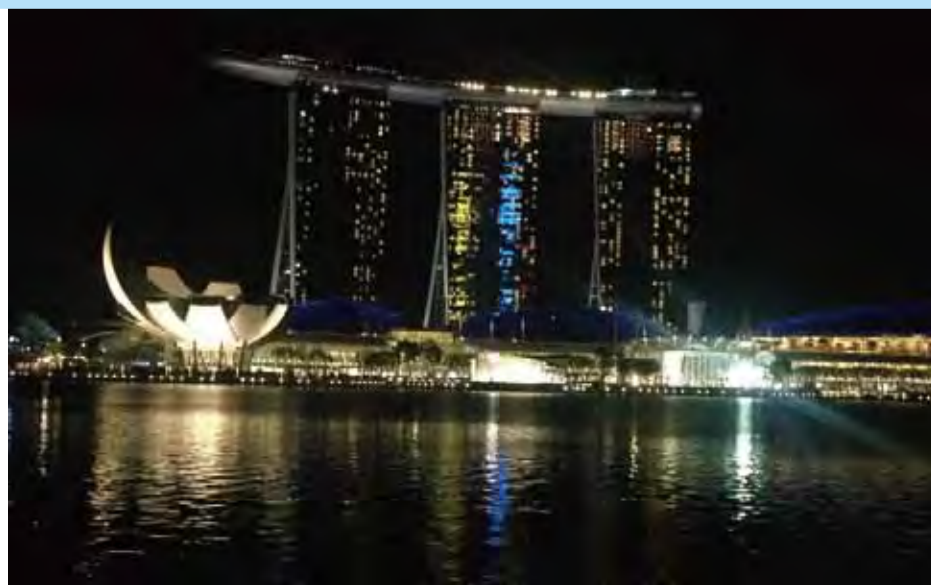
素敵な方々とたくさんお話する機会をいただき、リッツカールトンという素晴らしい空間とサービスに触れ、また、町の賑わいや喧騒からシンガポールのエネルギーと多様な人を受け入れつつ成長する姿に刺激を受けて帰国しました。あたりまえのような毎日、奇跡の連続です。1日1日を大切に、皆さんにお役立ちできることをコツコツとしていきたいです。

（文責 藤原 直）

- 取扱い生命保険会社
エヌエヌ生命・アクサ生命・アフラック
損保ジャパン日本興亜ひまわり生命
オリックス生命・ジブラルタ生命・ソニー生命
東京海上日動あんしん生命・日本生命
SBI生命・AIG 富士生命・マスマチュアル生命・マニユライフ生命
三井住友海上あいおい生命・メットライフ生命

- 取扱い損害保険会社
あいおいニッセイ同和損保・AIU 保険
セコム損保・ソニー損保・損保ジャパン日本興亜・そんぼ24・東京海上日動・富士火災
三井住友海上

(50音順)



シンガポールの美しい夜景